

表紙画像について…… 盛丘 由樹年

「神奈川病院の給水塔・神奈川県秦野市」2021年6月7日撮影

この給水塔は、もう使われていない。そうとう古いものであり、広場の一角にモニユメントのように、コンクリートの塊と化し、そそり立っている。この広場は、病棟の裏庭というべきところであり、一般の人はほとんど近づかない場所だ。主に、パジャマ姿の入院患者が散策するための場所になっていた。彼らがこれを見ながら、退院する日を数えたりする。20年ほど前、私もその一人だった。

塔の高さは目測で約25メートル。なかなかの存在感がある。見ようによつては、一つの芸術的造形物（オブジェ）だ。下の方にある窓穴から、木の枝が伸び出ていることが、おもしろい。上まで登るための金属製のはしごが部分的に付いているが、下の方では外されている。

この塔の周辺エリアには、手すりのついたスロープや、波打つ路面など「遊具類」がいくつかあるのも特異的だ。患者たちの歩行訓練のためのものらしく、ここは、リハビリのための野外施設だったと思われるが、今で

は使われていない。それらは、国立療養所といわれていた病院の歴史的遺物になっている。この給水塔がいつ建造されたものか、私は資料を見出せなかったが、おそらく前身となった軍人用の療養所が開設された昭和14年（1939）ごろのものだろう。

編集後記

今号では特にエッセイや小説が充実しており、なかなかのものになっていと思う。

各作品、それぞれの視点で問題点を意識し、書かれているように思える。語り継ぐためにも、文書にまとめることが有効でしょう(1.0)

【お知らせ】

- ・新会員を募集しています。お問い合わせは事務局へ。
- ・ホームページについては、以下のサイト、

<http://minasebungei.web.fc2.com>

を訪問してください。

ホームページの検索は『みなせ文芸』で可能です。

第47号からのバックナンバーをこちらで読めるようにしています。

【会員へ】 本号の合評・懇談会は8月下旬を予定しています。詳細は別紙・会合の案内を参照してください。また、今後に掲載しようとする原稿は、以下に示します締切日までにご用意下さい。

【次号の予定】 原稿締切日 発行予定日

92号 21年9月25日 21年11月1日

みなせ 第91号

発行日 2021年8月4日発行

発行者 みなせ文芸の会

<http://minasebungei.web.fc2.com/minase.html>

編集／事務局 岡森 利幸

〒257-0013 秦野市南が丘5-3-16

Tel/Fax 0463-83-0279

e-mail t-okamori@jalala.to

製本 社会福祉法人 貴峯 貴峯荘ワークピア

〒254-0064 平塚市達上ヶ丘1-9